

宿 泊 約 款

(適用範囲)

- 第 1 条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、
- 2 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

- 第 2 条 当館に宿泊契約の申込みの際は、次の事項を申し出ていただきます。
- 1) 宿泊者名
 - 2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - 3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料金による。)
 - 4) その他当館が必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2項の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みとしてお取り扱いさせていただきます。

(宿泊契約の成立等)

- 第 3 条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときには、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適応する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限り、

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第 4 条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第 5 条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- 1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - 2) 満室により客室の余裕がないとき。
 - 3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行動をするおそれがあると認められるとき。
 - 4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - 5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 6) 宿泊しようとする者が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - 9) 北海道旅行業法施行条例5条の規定する場合に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

- 第 6 条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当館の契約解除権)

- 第 7 条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。
- 1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行行為をしたと認められるとき。
 - 2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - 3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - 5) 宿泊に関し暴力的行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - 6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 7) 北海道旅行業法施行条例第5条の規定する場合に該当するとき。
 - 8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
- 2 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

- 第 8 条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- 1) 宿泊客の氏名・年令・性別・住所及び職業
 - 2) 外国人にあつては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日
 - 3) 出発日及び出発予定時刻
 - 4) その他当館が必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

- 第 9 条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、豆陽亭は午後3時から翌朝午前10時まで、豊洲亭は午後3時から翌朝午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- 1) 超過3時間までは、室料相当額の30%(室料金の3分の1)
 - 2) 超過6時間までは、室料相当額の50%(室料金の2分の1)
 - 3) 超過6時間以上は、室料総額の100%(室料の全額)
- 3 前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。

(利用規則の厳守)

- 第 10 条 宿泊客は、当館内においては、当館が定めた利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第 11 条 当館の施設の営業時間は、次のとおりとします。

- (1)大浴場「湯楽」
 - 午後 1 時00分から午前 1 時00分
 - 午前 4 時00分から午前 9 時30分
 - (11月～午前 5 時00分から午前 9 時30分)
 - (2)おみやげ処「玉手箱」
 - 午前 7 時30分から午後 9 時00分
 - (3)アロマテラピーサロン「ラフィーネ」
 - トリートメント 午後 2 時00分から午後 8 時30分(最終受付)
 - (4)食事提供時間
 - イ 朝食 午前 7 時00分から午前 9 時00分
 - ハ 夕食 午後 5 時30分から午後 8 時30分
 - (午後8時00分ラストオーダー)
 - (5)足湯テラス「はるにれ」
 - 午前 8 時30分から午前11時00分、午後 2 時00分から午後 9 時30分
 - (6)バー ウィズ(カラオケボックス)
 - 午後 8 時00分から午前 0 時00分
 - (7)麺や「零音」
 - 午後 9 時30分から午前11時30分
 - (8)豊洲亭 専用ラウンジ
 - 午前 6 時30分から午後10時00分
- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第 12 条 宿泊客が支払うべき宿泊料金の内容は、別表第 1 に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際は又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当館の責任)

第 13 条 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当館は、消防機関から防火優良認定証を受領しておりますが、万一の火災等に対処するために、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 14 条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了承を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設をあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館に責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 15 条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の障害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価格の明告を求めた場合において、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は60万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当館内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品が当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館はその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当館は故意又は重大な過失がある場合を除き、30万円を限度として当館はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 16 条 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解をしたときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第 17 条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第 18 条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

別表第 1 宿泊料金の算定方法(第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係)

内 容	
べき 宿 泊 客 が 支 払 う 総 額	宿泊料金 ①基本宿泊料(室料+朝・夕食料) ②サービス料(①×10%)
	追加料金 ③追加料金(朝・夕食以外の飲食料)及びその他の利用料金 ④サービス料(③×10%)
税金	イ 消費税 ロ 入湯税

- 備考 1. 基本料金は別に提示する料金表によります。
 2. 子供料金は小学生以下に適用し、大人時準じる食事と寝具を提供したときは大人料金の70%とします。
 3. 未就学児料金

お食事	お子様の年齢・ご宿泊スタイル	夕食	朝食	寝具
ビュッフェの場合	2歳～未就学児寝具付 @6,000	○	○	○
	2歳～未就学児 @4,400	○	○	×
	1歳 入館料 @2,700	○	○	×
会席膳の場合	2歳～未就学児夕食・寝具付 大人の50%	○	○	○
	2歳～未就学児 @4,400	×	×	×
	1歳 入館料 @2,700	×	×	×

※上記価格には税込表示となっております。

別表 2 違約金(第6条第2項関係)

契約解除の通知を受けた日 契約申込人数	不泊	当日	前泊	3日前	7日前	14日前
	一般	100%	100%	80%	50%	20%
団体	100%	100%	80%	50%	50%	20%

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
 2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
 3. 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊10日前(その日より後に申込をお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

政府登録国際観光旅館

十勝川温泉 第一ホテル

豊洲亭 豆陽亭

HOSYUTEI

TOYOTEI

株式会社 第一ホテル

Hotel Policy and Rules

<Scope of Application>

Article 1

1. Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these terms and conditions, and any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest, insofar as such special contract does not violate laws and regulations or generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provision of these terms and conditions.

<Application for Accommodation Contracts>

Article 2

1. When a guest wishes to make a contract for accommodation at our hotel, they must disclose the following:
 - 1 Name(s) of the Guest(s);
 - 2 Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - 3 Accommodation charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges in Attached Table No. 1)
 - 4 Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. If the guest puts in an application to extend their stay during their current stay, according to item No. 2 in the preceding paragraph, the hotel will treat this application as a new contract at the time the application is made.

<Conclusion of Accommodation Contracts>

Article 3

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proven that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6, and thirdly for the reparations under Article 18, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

<Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit>

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no deposit after the contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case where the Hotel has not requested payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified in the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be regarded that the Hotel has accepted a special contract as prescribed in the preceding Paragraph.

<Refusal of Accommodation Contracts>

Article 5

1. The Hotel may refuse to accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following conditions:
 - ① When the application for accommodation does not conform with the provisions of the Terms and Conditions;
 - ② When the Hotel is fully booked and no room is available
 - ③ When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will contravene a law or act against public order or good morals in regard to his accommodation;
 - ④ When the Guest(s) seeking accommodation is/are deemed to be any of the following:
 - a. A criminal gang (hereinafter referred to as "Criminal Gang") as prescribed in Article 2, Item(s)2, and a member of a criminal gang (hereinafter referred to as "Criminal Gang Member"), quasi-member of criminal gang or gang-related person as prescribed in Article 2, Item(s) 6 of "Act for the Prevention of Wrongful Acts by Members of Organized Crime Groups (law #77 enacted 1991)," and a member of antisocial forces.
 - b. Any corporation or any other form of organization whose business activities are governed by a criminal gang or Criminal Gang Member(s).
 - c. Any corporation whose member of the directors falls under Criminal Gang Member.
 - ⑤ When the Guest seeking accommodation is showing mischievous behavior towards other Guest(s).
 - ⑥ When the Guest seeking accommodation can be clearly seen to have contracted an infectious disease;
 - ⑦ When the Hotel (staff) is treated in a threatening and/or demanding violent manner, or requested to assume an unreasonable burden in regards to his/her accommodation;
 - ⑧ When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disasters, dysfunction of the facilities, and/or other unavoidable causes;
 - ⑨ Applicable when the situation falls under (No. 5) of the 5th Article of the Hokkaido Prefectural Ordinance Concerning the Enforcement of Hotel Business Laws.

<Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest>

Article 6

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case where the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3; and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case where a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. In the case where the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of the arrival if the Hotel is notified of it) without notice in advance, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

<Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel>

Article 7

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:
 - ① When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the law or act against public order and good morals in regard to his accommodation;
 - ② When the Guest(s) seeking accommodation is/are deemed to be any of the following:
 - a. A Criminal Gang Member, quasi-member of criminal gang, gang-related person or a member of antisocial forces.
 - b. Any corporation or any other form of organization whose business activities are governed by a criminal gang or Criminal Gang Member(s).
 - c. Any corporation whose member of the directors falls under Criminal Gang Member.
 - ③ When the Guest seeking accommodation is showing considerably mischievous behavior towards other Guest(s).
 - ④ When the Guest seeking accommodation can be clearly seen to have contracted an infectious disease;
 - ⑤ When the Hotel is demanded in a violent manner, or requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
 - ⑥ When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural disasters and/or other causes of force majeure;
 - ⑦ Applicable when the situation falls under (No. 5) of the 5th Article of the Hokkaido Prefectural Ordinance Concerning the Enforcement of Hotel Business Laws.
 - ⑧ When the Guest does not refrain from prohibited activities such as: smoking in bed, tampering with fire fighting equipment, and other prohibited activities of the Hotel Policy and Rule stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary to prevent fires)
2. In the case where the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph; the Hotel shall not be entitled to change the Guest for any services not received pertaining to the rest of the contracted period.

<Registration>

Article 8

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel the day of accommodation:
 - ① Name, age, gender, address, and occupation of the Guest(s);
 - ② For non-Japanese Guest(s), nationality, passport number, port and date of entry into Japan;
 - ③ Date and estimated time of departure;
 - ④ Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case where the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as travelers' checks, coupons, or credit card, these shall be shown in advance at the time of registration prescribed in the preceding Paragraph.

<Occupancy Hours of Guest Rooms>

Article 9

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel (Toyo-Tei) from 3 p.m. to 10 a.m. the next morning or (Hoshu-Tei) from 3 p.m. to 11 a.m. the next morning. However, in the case where the Guest will stay for consecutive nights, the Guest may occupy the room the whole day, except for the arrival and departure days.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - ① The Hotel holds the right to claim 30% (1/3 of the room fee) of the guest room charge total if the Guest exceeds his/her stay by 3 hours.
 - ② The Hotel holds the right to claim 50% (1/2 of the room fee) of the total guest room charge if the Guest exceeds their stay up to 6 hours.
 - ③ The Hotel holds the right to claim 100% of the total guest room charge if the Guest exceeds their stay beyond 6 hours.
3. The total guest room charge listed above refers to 70% of the basic room charge.

<Observance of Hotel Policy and Rules>

Article 10

1. The Guest shall observe the Hotel Policy and Rules established by the Hotel while on the premises.

<Business Hours>

Article 11

- The business hours of this hotel's facilities are as follows:
 - Public Bath "Yuraku"
 - 1:00 PM - 1:00 AM
 - 4:00 AM - 9:30 AM
 - (From November 5:00 AM - 9:30 AM)
 - Souvenir Shop "Tamatebako"
 - 7:30 AM - 9:00 PM (evening)
 - "Raffine" Aromatherapy Salon
 - Treatment 2:00 PM - 8:30 PM (last check-in)
 - Breakfast/Dinner Service
 - Breakfast 7:00 AM - 9:00 AM
 - Dinner 5:30 PM - 8:30 PM (last call at 8:00 PM)
 - Footbath terrace "Harunire"
 - 8:30 AM - 11:00 AM , 2:00 PM - 9:30 PM
 - Karaoke Bar "With"
 - 8:00 PM - Midnight
 - Menya "Shizune"
 - 9:30 PM - 11:30 PM
 - "Hosyu-Tei" Exclusive Lounge
 - 6:30 AM - 10:00 PM
- The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to change by the Hotel due to unavoidable circumstances. In such cases, the Guests shall be informed by appropriate means.

<Payment of Accommodation Charges>

Article 12

- The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc., that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table 1.
- Accommodation Charges etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than currency recognized by the Hotel, such as travelers' checks, coupons, or credit card, at the front desk.
- Accommodation Charges shall be paid even if the Guest, of his own volition, does not use the accommodation facilities at his disposal provided by the Hotel.

<Liabilities of the Hotel>

Article 13

- The Hotel shall compensate the Guest for damages if the Hotel has caused such damages to the Guest in the fulfillment or no fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in the case where the damage due to causes for which the Hotel is not liable.
- The Hotel has received a grade of "Pass" on the Certificate of Excellence of Fire Prevention Standards, issued by the Metropolitan Fire Department. Additionally, the Hotel is covered by hotel liability insurance for fire and/or other possible disasters.

<When the Hotel is Unable to Provide the Contracted Rooms>

Article 14

- The Hotel shall, when unable to provide contracted room(s), arrangement for accommodation of the same standard elsewhere for the Guest, insofar as practicable with the consent of the Guest.
- If arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges, and the compensation fee shall be applied to the reparations.
The Hotel shall not be responsible for paying compensation to the Guest(s) if there is no responsibility on the part of the Hotel for being unable to make arrangements for accommodations.

<Handling of Deposited Articles>

Article 15

- The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage, or other damage is caused to the articles, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case where this has occurred due to the causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report the kind and value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limit of 600,000 yen.
- The Hotel shall compensate the Guest when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel to the articles, cash, or the valuables which are brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for the articles which the type and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limit of 300,000 yen.

<Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest>

Article 16

- When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before arrival, the Hotel shall be liable to keep it only the case where such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of check-in.

- When the baggage or belongings of the Guest are found after check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner of when ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for seven days, including the day it is found, and after this period the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall assumed in accordance with the provision of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provision of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

<Liability in Regard to Parking>

Article 17

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle(s) of the Guest(s) when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damages caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

<Liability of the Guest>

Article 18

The Guest shall compensate the Hotel for damages caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

Calculation method of room charges (No.1 of Article 2 and No.1 of Article 12)

Total amount to be paid by Guest	
Accommodation Charges	①Basic room charge (room charge + breakfast and dinner charge) ②Service charges (①×10%)
Extra Charges	③Additional charges (food and drinks besides breakfast and dinner) charges for any other items used. ④Service charges (③×10%)
Taxes	a) Consumption tax b) Bath tax

Remarks

- Basic accommodation charges are indicated by the price list given otherwise.
- Child rates for elementary school children and under are 70% of adult rates when meals and bedding provided are equal to those of an adult.
- Child rates for children of preschool age and under:

food order	services (age)	rate	dinner	breakfast	bedding
buffet	buffet & bedding (2yrs.&up)	¥6,000	buffet	buffet	prepared
	buffet only (2 yrs.&up)	¥4,400	buffet	buffet	n/a
	no meal & bedding (1 yr. old)	¥2,700	buffet	buffet	n/a
food served at hotel restaurant	food & bedding (2yrs.&up)	50% of adult	prepared	n/a	prepared
	no meal & bedding (2yrs.&up)	¥4,400	n/a	n/a	n/a
	no meal & bedding (1 yr. old)	¥2,700	n/a	n/a	n/a

※All the price information above does include consumption tax.

Attached Table No.2

Cancellation Charges for Hotels (Paragraphs 2 of Article 6)

Date when notice of cancellation of contract is received	Number of contracted guests	
	General	Group
No show	100%	100%
Accommodation day	100%	100%
1 day prior to accommodation day	80%	80%
3 days prior to accommodation day	50%	50%
7 days prior to accommodation day	20%	50%
14 days prior to accommodation day		20%

Additional terms of cancellation applying to Attached Table No.2

- The percentages listed are with regards to the Basic Accommodation Charges
- When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for the first day contracted shall be paid by the Guest regardless of the number of days the contract is shortened.
- When part of a group booking (15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions rounded up.

Government-registered International Tourist Hotels



住宿条款

(适用范围)

第 1 条

- 本饭店与住宿客人之间签订的住宿合约及其关联合约,均按照本条款所定事项为准;关于本条款未定的事项,按照国家法律或一般常规为准。
- 在不违反正常法规以及一般常规的情况下,本饭店接待的特别约定不受前项规定的限制,特别约定享有优先权。

(住宿合约的申请)

第 2 条

- 申请与本饭店签订住宿合约时,请将以下信息提交给本饭店。
 - 住宿者的姓名
 - 住宿日期以及预计抵达时间
 - 住宿费用(原则上以附表1中的基本住宿费为准。)
 - 其他本饭店认为必要的事项
- 住宿者在住宿期间提出要超出前条第2项的住宿日期申请继续住宿时,本饭店将在申请被提出时承诺其为新的住宿合约申请。

(住宿合约的成立)

第 3 条

- 住宿和约在本饭店承诺前项申请时方可成立,但是,如果被证实本饭店未承诺时,则不受此限。
- 根据前项规定,住宿合约成立时以住宿期间(超过3天时按3天计算)的基本住宿费用为限,请在本饭店指定的日期内支付指定的预订金。
- 预订金可以用来支付住宿客人在退房时需要支付的最终基本住宿费用。如果发生第6条和第18条规定的相应事宜,将依次从中扣除违约金、赔偿金。如有余额,将根据第12条的规定在结算时将余额返还。
- 根据第2项中关于预订金的规定,住宿者如果在饭店的指定日期内仍未支付费用时,住宿合约将会失效。但是,仅限于快到预订金支付期限时本饭店通知过的住宿客人。

(不需要支付预订金的特约)

第 4 条

- 不受上述第2项规定的限制,依照特别约定,与本饭店即使签订合约后也可不需要支付预订金。
- 本饭店承诺过的住宿合约,如果本饭店没有要求支付如上述第2项所述的预订金或没有指定预订金的支付日期时,将按照前一项的特别约定进行处理。

(拒绝签订住宿合约)

第 5 条

发生以下情况时,本饭店将拒绝签订住宿合约。

- 住宿申请不符合本条款时
- 客满无法提供客房时
- 申请住宿者被认为有违反关于住宿的法律规定、扰乱公共秩序或者败坏风纪行为的可能性时。
 - 申请住宿者被判属于以下A至C的情况时
 - 关于防止暴力团成员的不正当行为的法律(平成3年法律第77号)第2条第2号所规定的暴力团(以下称作“暴力团”)、同条第2条第6号所规定的暴力团成员)以下称作“暴力团员”)、暴力团候补成员或者暴力团有关人员以及其他反社会势力。
 - 属于由暴力团或暴力团员进行经营活动所支配的法人以及其他团体。
 - 法人的干部当中有暴力团员时。
 - 申请住宿者的言行给其他客人造成很大麻烦时。
 - 申请住宿者被判患有传染性疾病时。
 - 就有关住宿方面提出带有暴力性的要求,并向本饭店提出超过饭店合理范围的负担时。
 - 由于天灾、设施故障,以及其他特殊理由无法使客人正常住宿时。
 - 符合北海道旅游业法律实施条例第5条所规定的内容时。

(住宿客人解除合约的权利)

第 6 条

- 住宿的客人可以向本饭店提出解除合约的申请。
- 由于住宿客人的个人原因而解除全部或部分合约时(根据第3条第2项的规定,在本饭店指定的日期请求住宿客人支付定金并在支付之前住宿者解除合约的情况除外),根据附表2中的相关记载,住宿客人需要支付违约金。但是,根据第4条第1项中特约的规定,住宿客人在解除合约时违约金的支付仅限于本饭店已通知过的住宿客人。
- 住宿客人未和饭店联络,到预定当日晚上8点(如果事先说明预定抵达时间,则按照超过两个小时计算)仍未抵达时,本饭店将会视为由于住宿客人的原因而导致合约被解除的情况来进行处理。

(本饭店解除合约的权利)

第 7 条

- 在下列情况时本饭店将会解除合约。
 - 住宿客人被认为有违反关于住宿的法律规定、扰乱公共秩序或者败坏风纪行为的可能性时;或被认为做过上述行为时。
 - 住宿客人被判属于以下A至C的情况时
 - 暴力团、暴力团员、暴力团候补成员以及暴力团相关人员或其他反社会势力。
 - 属于由暴力团或暴力团员进行经营活动所支配的法人以及其他团体。
 - 法人的干部当中有属于暴力团成员时。
 - 住宿客人的言行给其他客人带来很大麻烦时。
 - 住宿客人被判患有传染性疾病时。
 - 住宿时有暴力行为,并向本饭店提出超过饭店合理范围的负担时。
 - 由于天灾、设施故障,以及其他特殊理由无法使客人正常住宿时。
 - 符合北海道旅游业法律实施条例第5条所规定的内容时。
 - 在客房床上吸烟,利用消防设备等进行恶作剧,以及其他不遵守本饭店规定的禁止事项(限于为了预防火灾的必需品)时。
- 根据前项规定,由本饭店解除合约时,住宿客人尚未利用的住宿等服务不收取费用。

(住宿登记)

第 8 条

- 住宿客人请于住宿当日在本饭店的总服务台进行如下登记。
 - 住宿客人的姓名、年龄、性别、住所以及职业。
 - 外国客人还需要填写国籍、护照号码、入境地点以及入境年月日。
 - 预定的出发日及出发时间。
 - 其他本饭店认为有必要的事项。
- 根据第12条的费用,住宿客人在使用旅行支票、住宿券、信用卡等方式来代替货币进行付款时,请预先在前项的住宿登记时,向本饭店服务员出示相关物品。

(客房的使用时间)

第 9 条

- 关于客房的使用时间,豆阳亭为下午3点到翌日10点;非洲亭为下午3点到翌日上午11点。但是,如果连续住宿两天以上,除抵达日及出发日以外,可以全天使用客房。
- 与前项规定无关,如果在指定时间以外使用客房时,按如下收取追加费用。
 - 超过3小时以内时,客房费相当额的30%(客房费用的三分之一)
 - 超过6小时以内时,客房费相当额的50%(客房费用的二分之一)
 - 超过6小时以上时,客房费相当额的100%(客房费用的全额)
- 前项的客房费相当额为基本住宿费用的70%。

(使用规则的遵守)

第 10 条

住宿客人在本饭店内,请遵守本饭店所制定的使用规则。

(营业时间)

第 11 条

- 本饭店内各个设施的营业时间如下。
 - 大浴场“汤乐”
 - 午后1点00分至午前1点00分
 - 午前4点00分至午前9点30分
(11月~午前5点00分至午前9点30分)
 - 购物商店“玉手箱”
 - 午前7点00分至午后10点00分
 - 芳香疗法沙龙“RAFFINE”
 - TREATMENT 午后2点00分至午后8点30分(最后受理)
 - 用餐提供时间
 - A. 早餐 午前7点00分至午前9点00分
 - B. 晚餐 午后5点30分至午后8点30分
(午后8点00分最后点餐)
 - 足浴露台“春榆”
 - 午前8点30分至午前11点00分、午后2点00分至午后9点30分至
 - 酒吧“WITH”(卡拉OK厅)
 - 午后8点00分至午前0点00分
 - 面馆“霏音”
 - 午后9点30分至午后11点30分
 - 丰洲亭专用休息厅
 - 午前6点30分至午后10点00分
- 上述时间会因为不得已的情况做出临时变更。届时本饭店会以适当的方式通知客人。

(费用的支付)

第 12 条

- 住宿客人应付的住宿费用等内容,是依据附表1所列事项而定的。
- 前项的住宿费用可以用现金或本饭店认可的旅行支票、住宿券、信用卡等方式支付。住宿客人出发前或本饭店要求客人支付时,请到前台办理相关支付手续。
- 本饭店向住宿客人提供的客房,在入住手续办理完毕可以入住之后,即使住宿客人未使用客房,本饭店也要收取住宿费用。

(本饭店的责任)

第 13 条

- 本饭店由于未能履行住宿合约以及相关内容,从而给住宿客人带来损失时,本饭店将赔偿客人的损失。但是,如果责任不属于本饭店将不予赔偿。
- 虽然本饭店从消防机关得到了防火优良单位的认证,但是为了预防万一发生火灾时的情况处理,本饭店还加入了饭店赔偿责任保险。

(合约的客房却无法提供时的处理)

第 14 条

- 本饭店无法提供给住宿客人预定的客房时,在征得客人同意的情况下,饭店将尽可能按照同一条件安排客人到其他设施住宿。
- 尽管有前项规定,但是当本饭店无法安排客人到其他设施住宿时,本饭店将向客人支付与违约金相同金额的损失赔偿金。当本饭店不能提供客房的责任不在于本饭店时,本饭店将不予支付赔偿金。

(寄存物品的管理)

第 15 条

- 关于住宿客人在本饭店总台寄存的物品或现金以及贵重物品,一旦发生丢失、损坏的情况时,除不可抗力原因以外本饭店一律负责赔偿损失。但是,关于现金、贵重物品的种类以及价格,如果本饭店向客人请求如实申报,但是在客人没有申报的情况下,本饭店将以60万日元为限予以赔偿。
- 住宿客人带入本饭店的物品或现金及贵重物品,因本饭店故意或过失而导致的丢失、损坏等情况时本饭店将予以赔偿。但是,如果事先没有将种类以及价格进行申报,除因本饭店造成的故意且重大过失以外,本饭店将以30万日元为限予以赔偿。

(住宿客人的行李或携带品的保管)

第 16 条

- 关于住宿客人的行李,只有在提前预约并得到本饭店的允许后,方可在住宿客人抵达前由本饭店负责保管,抵达后在办理入住登记手续时,由总台交还给客人。
- 住宿客人在退房之后,如果有客人的行李或携带品遗忘在本饭店内,在确认失主身份后,本饭店会和失主联络,并按照失主的要求对物品进行处理。但是,在失主未和饭店联络或者不能断定失主身份时,饭店将从捡到物品之日起7天之内交与饭店管辖内的警察局处理。
- 在前2项的关于住宿客人的行李或携带品的保管上本饭店的责任是,在第1项的情况发生时,将按照前条第1项的规定,前项的情况时将按照同条第2项规定的标准进行处理。

(停车的责任)

第 17 条

住宿客人使用本饭店的停车场时,不管车辆的钥匙如何存放,因为是属于借用本饭店的场所,所以本饭店没有负责车辆管理的责任。但是,在停车场的管理工作中,如果本饭店由于故意或过失给客人造成损失时,本饭店将承担相应的赔偿。

(住宿客人的责任)

第 18 条

由于住宿客人的故意或过失使本饭店遭受损失时,本饭店会向该住宿客人请求赔偿。

附表1 住宿费用的计算方法(与第2条第1项及第12条第1项相关联)

内 容	
住宿客人应支付的总费用	住宿费用 ①基本住宿费用(客房+早餐、晚餐费) ②服务费(①×10%)
	追加费用 ③追加费用(早餐、晚餐以外的饮食费用)以及其他消费 ④服务费(③×10%)
税	A 消费税
	B 沐浴税

注释 1.基本住宿费用请参阅附表

2.小学生可以享受儿童优惠价,与大人用相同的餐食和寝具时,其价格为大人费用的70%

3.学龄前儿童价格

用餐	儿童的年龄・住宿形式	晚餐	早餐	寝具
利用自助餐时	2歳-学龄前儿童附带寝具@6,000	○	○	○
	2歳-学龄前儿童@4,400	○	○	×
	1岁入馆费@2,700	○	○	×
利用餐厅时	2歳-学龄前儿童附带晚餐・寝具大人费用的50%	○	○	○
	2歳-学龄前儿童@4,400	×	×	×
	1岁入馆费@2,700	×	×	×

※以上标价是含税价格。

附表2 违约金(与第6条第2项相关联)

接到合约解除通知日	未住宿	当天	前一天	3天前	7天前	14天前
申请合约的人数						
普通	100%	100%	80%	50%	20%	
团体	100%	100%	80%	50%	50%	20%

(注) 1.%指的是相对于基本住宿费,违约金所占的比率。

2.缩短合约日期时,无论缩短多少天,都将收取1天(第1天)的违约金。

3.关于团体客人(15位以上)的一部分需要解除合约时,住宿的10天前(在此日之后订房者则按照预定之日)的人数不超过相当于原定团体人数的10%(出现尾数时按进位计算)时,则不收取违约金。

政府登记国际观光旅馆

十胜川温泉
第一饭店

豊洲亭 豆陽亭

HOSYUTEI

TOYOTEI